

ステークホルダー のご意見

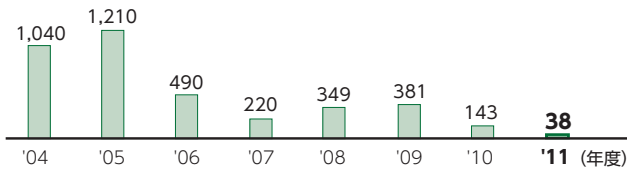
産業廃棄物を中心にリサイクル率が高いことは素晴らしいと思う。今後も継続してほしい。
(個人のお客さま)

● 産業廃棄物の社外埋立処分量の抑制

2011年度の産業廃棄物の社外埋立処分量は、共同回収の的確な運用などにより38トンまで抑制しました。

産業廃棄物の社外埋立処分量

単位:トン

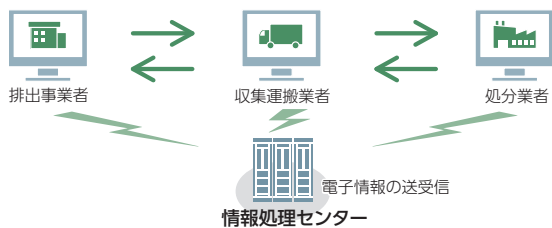


● 電子マニフェストシステムの導入

産業廃棄物処理におけるコンプライアンスの確保や事務処理の効率化などを目的に、2011年度に電子マニフェストシステム*を全社に導入しました。

*: マニフェスト(産業廃棄物管理票)情報を電子化し、排出事業者、収集運搬業者、処分業者の3者が情報処理センターを介したネットワークでやりとりするシステム。

電子マニフェストシステムの仕組み



私の環境アクション

電子マニフェストの導入について

川内発電所では、産業廃棄物のリサイクル率99%以上を目指して取り組みを実施しており、2011年度は100%を達成しました。産業廃棄物は排出量を減らすことのみならず、廃棄物を確実にリサイクルすることも大切です。当所では2012年3月より電子マニフェストを導入していますが、この電子マニフェストは産業廃棄物処理の状況をネットワークにより迅速に把握できるとともに、その実績が自動的に県へ報告されるなど、公的に信頼性が高いシステムとなっています。この電子マニフェスト導入にあたり、産業廃棄物委託契約書及び関連協定書をすべて再締結する等の事務処理が相当数あり、また地域や事業者によって契約書に若干の違いがあるなど調整に苦労しましたが、現在は順調に運用されています。

今後は、この電子マニフェストを使用した産業廃棄物の迅速な業務処理に努め、リサイクル率向上はもちろんのこと、コスト削減と環境負荷

低減を含めた適正な対応を実施していきます。



川内発電所
技術グループ
よねみつ きよと
米満 清人



(2) 一般廃棄物

当社で発生する一般廃棄物には、古紙等のオフィス活動に伴うものや発電所の貝類、ダムの流木などがあります。これらの一般廃棄物についても、適切な管理・処理を行うとともに、3Rを実践しています。



詳細は九州電力ホームページ

関連・詳細情報 (P2参照) > 当社で発生する一般廃棄物のリサイクル状況

古紙などの一般廃棄物の発生量とリサイクル率 (2011年度)

	発生量(トン)	リサイクル量(トン)	リサイクル率(%)	主なリサイクル用途
古紙	1,327	1,327	100	再生紙
貝類	194	168	87	肥料
ダム流木	1,213	1,188	98	敷きわらの代用品

古紙のリサイクルについては、取り組みを開始した2002年度以降、100%リサイクルを継続しており、回収した古紙の一部は、グループ会社の九州環境マネジメント(株)で、コピー用紙、紙ひも、トイレトペーパーに再生されています。



回収した古紙で作った製品



その他の取り組みについては九州電力ホームページ

関連・詳細情報 (P2参照) > 不法投棄パトロールへの協力

2 グリーン調達への推進

製品等の調達の際は、“まずその必要性を十分に精査の上、環境にやさしい製品等の調達を図る”ことを定めた「グリーン調達制度」を2002年度から導入し、取引先企業の皆さまとも協働して、製品等のグリーン調達に努めています。



詳細は九州電力ホームページ

関連・詳細情報 (P2参照) > グリーン調達制度のご紹介

(1) 汎用品(事務用品等の市販品)

汎用品については、当社購入基準(個別ガイドライン)に適合した環境配慮製品を原則購入することとしており、2011年度のグリーン調達率*は約100%となりました。

*: 購入した汎用品に占める環境配慮製品の割合(環境配慮製品のある品目が調達率算定の対象)。

(2) 電力用資機材

お取引先から応募いただいた製品等の情報・提案をもとに、特に良好と認められる製品を当社の「グリーン製品」として指定し、社内外に公表するとともに、積極的な調達を行っています。

(3) グリーン取引先

積極的に環境活動に取り組まれている取引先企業の皆さまを「グリーン取引先」として指定し、当社ホームページに企業名を掲載させていただくとともに、見積参加機会の拡大等に配慮しています。2011年度は新たに4社を指定し、合計で253社となりました。